

## 第 125 回 理事会 議事次第

日本商品先物振興協会

日 時 平成 29 年 9 月 19 日 (火) 正午

場 所 東京商品取引所 5 階会議室

- 議 案
1. 準会員の加入について
  2. 10 月以降のプラチナスポットの定率会費について (案)
  3. その他

以 上

## 準会員の加入について

本会の会員であるカネツ商事株式会社から、本年10月1日付けで吸収分割によりカネツFX証券株式会社に商品先物取引業の事業承継を行うことに伴い、本会に対し、同日付けをもって準会員として加入したい旨の申込みがあった。

このことについて、分割に係る主務大臣の認可を受けることを前提として、準会員の加入を承認することとしたい。

### 1. 加入申請者

- ・ 商号 カネツ商事株式会社
- ・ 住所 東京都中央区日本橋久松町12-8
- ・ 資本金 4億円（平成29年3月末）
- ・ 本会に対する代表者 代表取締役社長 塩飽 誠
- ・ 主要株主 カネツホールディングス 100%
- ・ 商品先物取引仲介業を行う商品市場
  - 東京商品取引所
  - 貴金属市場
  - 石油市場
  - 中京石油市場
  - ゴム市場
  - 農産物・砂糖市場
- ・ 所属商品先物取引業者：カネツFX証券株式会社

### 2. 加入予定日

平成29年10月1日

（カネツ商事株式会社の商品先物取引業の分割が主務大臣に認可され、その効力が発生する予定の日）

\* 本会の定款の定めるところにより、商品先物取引業を承継したカネツFX証券株式会社は、カネツ商事株式会社の本会の会員たる地位を承継する。

以上

## 10月以降のプラチナスポットの定率会費について（案）

本年3月21日に取引が開始されたプラチナスポットについては、東商取から同商品の取引活性化への協力要請があったことを受け、当初、取引開始日から6月30日までの売買分につき、その後、さらに9月30日までの売買分につき、それぞれ理事会の議を経て、定率会費を徴収しないこととした。

今般、東商取から、現在の流動性を維持・向上させることによって更なる取引活性化を図るため、同社が行っている振興策を継続することとしたので、本会においても格別の配慮を願いたい旨の要請があった（別紙参照）。

このことを踏まえ、本会としても、引き続き同商品の取引振興を図るため、本年10月から12月末までの売買分につき定率会費を徴収しないこととしたい。

\* プラチナスポットの定率会費 4枚を1枚に換算し、換算後の1枚につき1.50円

## 【プラチナスポットの取引状況】

## 1. 出来高及び本会会員の売買状況

上場以来の月間出来高、1日平均出来高の状況は以下の通り。

	営業日数	出来高		受託会員売買高		
		月間	1日平均	会員数	売買高	1日平均
3月	9日	102,099枚	11,344枚	13社	213,183枚	23,687枚
4月	20日	149,891枚	7,495枚	13社	266,303枚	13,315枚
5月	20日	187,003枚	9,350枚	13社	334,949枚	16,747枚
6月	22日	199,044枚	9,112枚	13社	370,348枚	16,834枚
7月	20日	184,088枚	9,204枚	13社	350,376枚	17,519枚
8月	22日	203,065枚	9,230枚	13社		

## 2. 各月末の取組高

以下の通り推移している。

	取組高
2017年3月末	31,579枚
4月末	42,501枚
5月末	49,900枚
6月末	56,726枚
7月末	57,416枚
8月末	49,237枚

以上

## 普及啓発等事業の実施状況・今後の予定

## 1. 株式投資家への訴求を主眼とした取組み

## 日本個人投資家協会への講師派遣

約 3,000 名の個人の株式投資家を会員として有する日本個人投資家協会（英名 Japan Association of Individual Investors、会長 長谷川慶太郎氏）が定期開催している投資セミナーに、本会からコモディティ関連の講演を行う講師を派遣することで C X 取引への関心醸成を促す（第 1 回から第 3 回は開催済み）。

回数	開催日	派遣講師名	タイトル	参加者数
	4月19日	YEN 蔵（田代 岳）	株・為替・ゴールドの相関を読む投資術	22人
	5月17日	小次郎講師	勝てる投資家になるためのテクニック	22人
3	6月24日	小菅 努	地球を読む！ 投資活用術	32人
4	9月23日	亀井 幸一郎	金がわかれば世界が見える	
	10月25日	小菅 努	コモディティ、仮想通貨～代替投資の時代	
	11月29日	池水 雄一	ゴールドディーリングの全て	

- \*1 丸数字を付した回の開催場所は東商取地下 1 階セミナールーム。その際、TOCOM 市場の見学会（第 1 回、第 2 回）や TOCOM スクエアで行われているラジオ NIKKEI「マーケットトレンド」の公開生放送の観覧会（第 5 回、第 6 回）を併せて実施。
- \*2 上記以外の回の開催場所は日本橋公会堂。

## 2. 金（ゴールド）の関心層への訴求を目的とした取組み

## ゴールドフェスティバル 2017（主催：ゴールドフェスタ運営事務局）

金先物取引、アンティークコイン、金工、金箔、など金全般に関する講演や展示で構成される PR イベントを東京で開催。

本会はブースを出展し、来場した投資家に対してメールアドレス登録の受付け、会員企業の PR チラシの配付等を実施した。メールアドレスの提供を受けた投資家にはメールマガジンを配信して、本会会員が実施するセミナー、キャンペーン情報等を投資家等に伝えて、商品投資家層の裾野拡大を図っている。なお、2017 年 9 月 1 日時点の購読者数は 1,037 人である。

開催日：6月24日（土）

会場：よみうり大手町ホール（東京都千代田区）

来場者：623 名

### 3. コモディティの関心層への訴求を目的とした取組み

#### コモディティ フェスティバル 2017 in 大阪・東京

(主 催：先物協会、東商取、堂島取(大阪のみ))

金融とコモディティに高い専門性を有する講師陣による世界経済・コモディティ・株・為替の市況分析、チャートで読み解く直近コモディティ相場の展望など「コモディティセッション」と、コモディティの魅力伝える多彩な展示ブースで構成するコモディティ特化型のPRイベントを大阪と東京で開催。東京会場では「TOCOM リアルトレードコンテスト」入賞者の表彰式を合わせて実施する予定。

本会はブースを出展し、チラシの代理配布、メールマガジン購読者の募集を行う。

なお、開催日時・場所等は以下の通り。

#### (1) コモディティフェスティバル 2017 in 大阪【開催済み】

開催日：9月9日(土)

会 場：ヴィアーレホール(大阪府中央区)

来場者：266名

講演内容：別紙参照

#### (2) コモディティフェスティバル 2017 in 東京

開催日：9月23日(土)

会 場：ソラシティホール(東京都千代田区)

来場見込：300名

\* 両会場の講演内容は別紙参照

### 4. 広く金融取引の関心層への訴求を目的とした取組み

#### 投資戦略フェア in 大阪・東京(主催：パンローリング株)

株式・FX・コモディティなどを手がける個人投資家が、例年、数千人規模で参加するPRイベントであり、20~30名の講師により5~6本の講演が同時並行的に展開される。来場者のうち金融商品、FX投資家が占める割合が高いため、コモディティの潜在的顧客層の開拓が見込める。

本会はブース出展し、メールマガジン購読の募集、会員企業のPRチラシ配布等の普及活動を行う。

#### (1) 大阪会場

開催日：2017年10月7日(土)

会 場：マイドームおおさか(大阪府中央区)

来場見込数：2,000~3,000人(昨年度の来場者数：1,781人)

( 2 ) 東京会場

開催日：2018年3月10日(土)

会場：東京ドームシティ プリズムホール(東京都文京区)

来場見込数：4,000～6,000人(昨年度の来場者数：5,413人)

5. 登録外務員の識見の向上・強化を目的とした取組み

C X市況講演会

主として登録外務員の商品先物関連知識の向上を目的とした専門家講師による商品関連セミナー。来場できない会員企業の役職員のために、今年度から会員専用ページ内において講演の様子を撮影した動画を提供している。

本年度は4～5回の講演を実施する予定。

なお、実施済みの講演会の概要は以下の通り

第32回C X市況講演会(主催：先物協会)

開催日：7月19日(水)

会場：東京商品取引所地下1階セミナーホール

講師と演題

第1部：舘 美公子 氏(住商グローバルリサーチ)「国際情勢と原油市場の見方」

第2部：亀井 幸一郎 氏(金融・貴金属アナリスト)「金がわかれば世界が見える」

来場者：42名(商先業者12社)

以 上



コモディティフェスティバル  
コモディティ投資をじっくり学べる一日。

ホーム

開催概要

講演詳細

登壇者プロフィール

主催・協賛・協力

# Commodity Festival '17

コモディティ投資をじっくり学べる一日



大阪会場

2017.9.9<sup>土</sup>

本町・ヴィアーレホール

【定員250名】 12:40-16:30 開場12:00

東京会場

2017.9.23<sup>土</sup>

御茶ノ水・ソラシティホール

【定員300名】 12:40-16:30 開場12:00

世界を動かすコモディティ。その魅力から現在のマーケット、トレード手法まで



講演詳細	
開場 12:00-	開場・受付開始
オープニング 12:40-	主催者からのごあいさつ
第1部 12:50- (45min)	<p>【株・エネルギーの見通し】</p> <p><b>「世界経済と株・原油のゆくえ ～ファンドマネージャーの眼」</b></p> <p>エモリキャピタルマネジメント代表 江守哲 氏</p> 
PR 13:35-	出展企業による展示PR
第2部 13:40- (50min)	<p>【貴金属・為替の見通し】</p> <p><b>「リーマンショックからの脱却 ～新時代のドルとゴールド」</b></p> <p>ICBCスタンダードバンク東京支店長 池水雄一 氏          &lt;東京会場&gt; CKキャピタル代表・CEO 西原宏一 氏          &lt;大阪会場&gt; DZHフィナンシャルリサーチ 常務執行役員 和田仁志 氏          [進行]フリーアナウンサー 大橋ひろこ 氏</p>  <p>大阪会場 東京会場</p>
休憩 14:30-	休憩 (25min)



第3部  
14:55-  
(45min)

【テクニカルで相場を読む】

## 「移動平均線大循環分析で読み解く コモディティ展望」

手塚宏二事務所代表 手塚宏二氏（小次郎講師）



第4部  
15:45-  
(45min)

【トレーダートークセッション&表彰式（東京）】

## 「トレーダーの頭の中 ～勝者の思考とテクニック」

<東京会場> 第1回 TOCOMリアルトレードコンテスト入賞者（予定）

<大阪会場> 専業トレーダー/テクニカルアナリスト バカラ村 氏

[聞き手]コモディティアンバサダー 手塚宏二氏・大橋ひろこ氏



※本イベントの内容を予告なく変更する場合がありますので予めご了承下さい。プログラムの追加、訂正は随時公式サイトにてご案内してまいります。

## コモフェス 2017 の参加申込者データまとめ

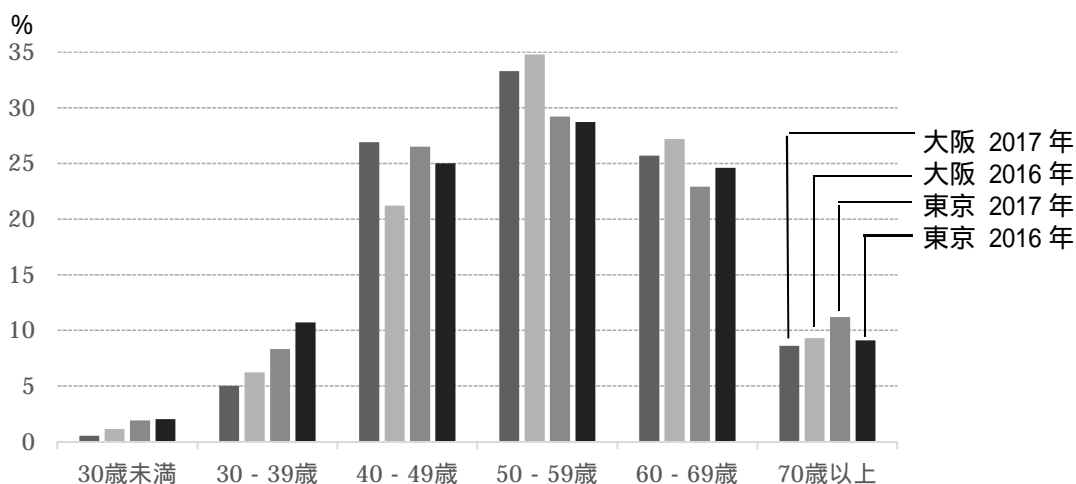
### 1. 申込者数

大阪：9月9日開催（申込者 420 人、参加者 266 人）

東京：9月23日開催（申込者 520 人）

コモディティフェスティバル（コモフェス）の開催は今年で東京が通算 5 回、大阪は 3 回目。

### 2. 申込者の年齢層



年齢層のコアは 40 歳代～60 歳代で、大阪は東京に比べ 5～7% 程度上回っており、特に 50 歳代の割合が高くなっている。逆に大阪は 30 歳代と 30 歳未満の割合が 5% 程度、東京に比べ低くなっている。なお 70 歳代以上の申込者はおよそ 1 割である。

### 3. 申込者の職業

	2017				2016			
	大阪		東京		大阪		東京	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
会社員	165 人	39.3%	236 人	45.4%	116 人	32.9%	226 人	41.8%
会社経営者・役員	24 人	5.7%	33 人	6.3%	21 人	5.9%	31 人	5.7%
個人事業主・自営業	55 人	13.1%	57 人	11.0%	60 人	17.0%	72 人	13.3%
個人投資家	22 人	5.2%	29 人	5.6%	16 人	4.5%	16 人	3.0%
公務員	11 人	2.6%	12 人	2.3%	7 人	2.0%	12 人	2.2%
専門職(医師等)	8 人	1.9%	12 人	2.3%	4 人	1.1%	6 人	1.1%
主婦	22 人	5.2%	8 人	1.5%	25 人	7.1%	28 人	5.2%
無職(退職者等等)	85 人	20.2%	97 人	18.7%	79 人	22.4%	114 人	21.1%
その他	47 人	11.2%	50 人	9.6%	45 人	12.7%	58 人	10.7%
合計	420 人	100%	520 人	100%	353 人	100%	541 人	100%

職業別で見ると「会社員」が 4 割前後（2016 年の大阪は 3 割強）で、次いで多いのは「無職

(退職者等)」で約2割を占める。「個人投資家」は昨年より増加した。「主婦」も概ね5%前後だが、今年の東京だけ1.5%と大きく低下している。女性の参加比率が大きく変わっていない(19.6% 16.3%)ことに照らせば、女性の就業者増加の反映とも見える。

#### 4. 申込者の投資経験(複数回答)

	2017年				2016年			
	大阪		東京		大阪		東京	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
株式	329人	78.3%	424人	81.5%	294人	83.3%	428人	79.1%
投資信託・債券	169人	40.2%	217人	41.7%	128人	36.3%	235人	43.4%
日経先物(ミニ含む)	49人	11.7%	47人	9.0%	51人	14.4%	51人	9.4%
金地金・金貨	29人	6.9%	56人	10.8%	28人	7.9%	55人	10.2%
純金積立	28人	6.7%	49人	9.4%	27人	7.6%	57人	10.5%
金ETF	27人	6.4%	48人	9.2%	36人	10.2%	59人	10.9%
外貨預金	63人	15.0%	94人	18.1%	44人	12.5%	84人	15.5%
商品先物	44人	10.5%	60人	11.5%	41人	11.6%	62人	11.5%
FX	155人	36.9%	161人	31.0%	108人	30.6%	149人	27.5%
CFD	46人	11.0%	56人	10.8%	54人	15.3%	61人	11.3%
不動産	34人	8.1%	43人	8.3%	20人	5.7%	49人	9.1%
経験なし	4人	1.0%	17人	3.3%	7人	2.0%	16人	3.0%

投資経験(複数回答)は、「株式」が8割前後、次いで「投信・債券」が4割前後、3番目が「FX」で3割前後。「商品先物」は10%前後で「CFD」とほぼ同じ比率だった。金は人気の投資対象だが「金地金・金貨」「純金積立」「金ETF」3商品の合計は大阪で約2割、東京が約3割であり、この2年を見る限り、大阪よりも東京で金選好が高いことが窺える。

以上